

94 東京法学院学年試験問題

〔法学新報〕第八八号 明治三十一年七月二十日

○法学院の学年試験問題

本年の学年試験の問題左の如し但し英語法学科の分は省略せり

第一年級

債権法(第二部甲)

第一、諾成契約ト要物契約ノ区別ヲ説明スヘシ

第二、申込ヲ取消シ得ヘキ場合及ヒ之ヲ取消シ得サル場合ヲ説明スヘシ

第三、甲者其所有家屋ヲ金五十円ニテ乙ニ売渡スコトヲ本年四

月一日ニ契約シ之ニ第十二議會カ解散セラレタルトキハ此契約ヲ解除スヘシトノ条件ヲ附シ家屋ヲ引渡シ代価ヲ受取りタルニ其家屋ハ五月一日ニ隣家ノ失火ノ為メ類焼シ第十二議會ハ六月ニ至リ解散セラレタリ此場合ニ於テ甲ハ代価返還ノ義務アリヤ否ヤ理由ヲ附シテ答フヘシ

債權法（第二部乙）

第一、他人ノ物ヲ売買シタル場合ニ於ケル買主ノ權利及義務ヲ

詳述スヘシ

第二、消費貸借ノ定義及ヒ性質ヲ説明スヘシ

民法総論

第一、法人ハ如何ナル場合ニ於テ其解散後尙ホ存続スルモノト看做サル、乎

第二、意思表示カ強迫ニ因ル場合ト強暴ニ因ル場合ニ其効果ニ

於テ如何ナル差違アルヤ

刑事訴訟法

第一、鑑定ヲ為シタル事項ニ付鑑定人ヲ呼出シ訊問ヲ為ストキ

ハ之ヲ鑑定人トシテ呼出スヘキカ將証人トシテ呼出スヘキカ

第二、許スヘキ故障ト許スヘカラサル故障トヲ區別スヘシ

親族法

第一、養子縁組ニ因ル法定血族關係ヲ止ム場合ヲ列挙スヘシ

第二、隠居ヲ為スニハ如何ナル条件ヲ要スルヤ並セテ其条件ヲ

説明スヘシ

第三、婚姻ハ如何ナル効果ヲ生スルヤ

相続法

第一、代承相続ノ方法ハ家督相続ト遺産相続ノ間ニ異同アルヤ

第二、債權者丙ハ甲者ニ対シ一万円ノ貸金アリタル処甲者ハ其

後隠居ヲ為シタレトモ財産ノ留保ヲ為サス而シテ其家督相続

人乙ハ單純承認ヲ為シテ相続セリ此場合ニ於テ前代戸主ノ債

權者丙ハ隠居者甲ニ対シ請求ヲ為スノ權利アルヤ

第三、未來ノ相続權ハ之ヲ拋棄スルコトヲ得ルヤ

債權法（第一部）

第一、債務ノ履行ニ付キ（甲）不確定期限アルトキ及ヒ（乙）

期限ヲ定メサリシトキハ債務者ハ如何ナル時ニ於テ遲滞ノ責

ニ任スヘキ乎

第二、連帶債務者ノ一人ノ為メニ時効カ完成シタルトキハ他ノ

債務者ニ付キ如何ナル効果ヲ生スル乎

刑法問題

第一、在朝鮮ノ朝鮮人全國民ヲ教唆シテ在日本ノ朝鮮人ヲ殺害

セシメタリ教唆者ハ何レノ国又何レノ刑法ニテ処罰セラル、

可キ者ナル乎

第二、過失罪ノ性質及其構成条件如何

物權法（第一部）

第一、物權ノ要素如何

第二、代理占有ノ場合ニ於ケル占有ノ意思（心素）ノ所在ヲ指

示シ其理由ヲ説明スヘシ

時効法

第一、時効ト予定期間トハ如何ナル區別アリヤ

第二、所有權ハ何故ニ消滅時効ニ罹ラシメサルヤ

第三、定期金ノ債權ト年又ハ之ヨリ短キ時期ヲ以テ定メタル金
錢其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル債權トノ區別ヲ明示スヘシ

第二等級

帝国憲法

第一、臣民タル地位及臣民ノ權利ト云フコトヲ説明スヘシ

第二、帝国議會ノ權限ヲ説明スヘシ

民事訴訟法(第一編)

第一、外国人ノ訴訟能力ハ何レノ國ノ法律ニ從ヒ之ヲ定ムヘキ
モノナルヤ

第二、訴訟代理權ノ範圍ハ委任者ニ於テ自由ニ之ヲ制限スルコ
トヲ得ルヤ

会社法

第一、現行商法ニ於ケル合資会社ノ無限責任社員ト新商法草案

ニ於ケル合資会社ノ無限責任社員トノ權利義務ニ差違アリヤ
若シアラハ之ヲ挙示スヘシ

第二、現行商法ニ於テ株主總會ニ定數ノ出席員ナキトキハ如何

ナル方法ニ依リ議題ヲ成立セシムルヲ得ヘキモノトスルヤヲ

説明スヘシ

第三、株式ノ申込ハ之ヲ取消スコトヲ得ルヤ否ヤ理由ヲ附シテ

説明スヘシ

刑法各論

第一、掏摸ヲ業トスル者甲旅人乙ノ金囊ヲ奪ハント欲シ尾行ス

ルコト數日尚ホ隙ノ乘スヘキモノヲ發見セス是ニ於テ寧口之
ヲ殺害シテ其金囊ヲ強奪セント欲シ山間人無キノ処ヲ通行ス

ルニ当リ急ニ後ヨリ有合ノ三尺帶ヲ乙ノ勁部ニ纏ヒ之ヲ縊殺
セントシタルモ却テ乙ノ為メニ組伏セラレ其目的ヲ遂ケス

備考 乙ハ何等ノ創傷ヲモ受ケス

右甲ノ処分如何

第二、強盜及ヒ詐欺取財ト恐喝取財トノ區別ヲ詳論セヨ

擬律

第一、甲者乙者ニ所有ノ宅地ヲ売渡シタルモ未タ其登記ヲ為サ
、リシヲ以テ更ニ同一ノ地所ヲ丙者ニ登記ヲ經テ売却シタル
トキハ甲者ノ処分如何

第二、甲者乙者ニ一ノ家屋ヲ売却シ其代価ハ乙者ノ選定シタル
評価人ノ定メタルモノニ依ルコトヲ約束セリ然ルニ乙者カ評
価人ノ選定ヲ為サ、ルトキハ甲者ノ請求スル代価ヲ如何シテ
之ヲ定ムルヤ

債權法(第三部)

第一、事務管理ニ因リ被管理者ヲシテ責ニ任セシムルニハ如何
ナル要件ヲ必要トナスヤ

第二、不法行為ヲ構成スル要件ハ列記シ並セテ之ヲ説明スヘシ

物權法(第二部)

第一、当事者ノ意思ヲ以テ讓渡ヲ禁シタル債權ハ質權ノ目的ト
為スコトヲ得ルヤ否ヤ

第二、抵当特定主義ヲ説明セヨ

手形法

第一、無記名式ノ為替手形ニ裏書シテ他人ニ渡シタル者ハ如何
ナル手形上ノ義務アリヤ

第二、盗児アリ甲者ノ所有スル約束手形ヲ窃取シ甲者ノ裏書ヲ偽造シテ自己ヲ被裏書人トナシ更ニ自ラ裏書シテ情ヲ知ラサル乙者ニ売渡シタル後右犯人ハ訴追セラレテ偽造ノ罪ハ確定シタリ此場合ニ於テ乙者ノ手形上ノ権利及ヒ犯人ノ手形上ノ義務ハ如何

第三、支払人引受人及ヒ参加引受人（榮譽引受人）ノ義務ニハ如何ナル差違アリヤ

第四、所持人ハ引受人アル手形ノ振出人ニ対シテ担保ヲ請求シ得ルヤ否ヤ

第五、甲者カ其取引銀行ニ対シテ振出シタル日時後三十日払ノ小切手ヲ所持スル者其満期日ニ至リ支払ノタメ之ヲ呈示シタレトモ右銀行ハ支払ヲ拒絶セリ此場合ニ所持人ハ如何ナル手形上ノ権利ヲ有スルヤ

海商法

第一、甲ナル船舶所有者アリ乙ヨリ物品ノ運送ヲ托セラレ之カ運送中原因ヲ詳ニセサル失火ノタメ其物品ヲ焼失シタリ此場合ニ於テ乙ハ該物品ニ対スル運送賃ヲ支払フノ義務アルヤ及ヒ其理由如何

第二、発航後ニ至リ船舶カ発航ノ当時ヨリ安全ニ航海ヲ為スニ堪ヘサリシモノナルコトヲ発見シタルトキハ備船者ハ其船舶所有者ニ対シ如何ナル救済権ヲ有スルヤ其理由如何

第三、船舶管理人ノ性質及ヒ権限ヲ説明セヨ

第三年級

保険法

第一、被保険利益トハ何ソヤ

第二、船舶ノ海上保険ニ於テ保険人ノ担保スヘキ危険及ヒ其開始ト終了ノ時期ヲ説明ス可シ

行政法

第一、「行政」及「行政官」ノ意義ヲ正確ニ定義シ説明スヘシ

第二、地方自治行政ト中央行政トノ区別ヲ弁明シ二者ノ相関係ヲ略説スヘシ

民事訴訟法（自第二編至第五編）

第一、如何ナル請求ハ反訴トシテ之ヲ為スコトヲ得ルヤ

第二、控訴ニ依リテ生スル移審ノ効力ハ第一審裁判ノ如何ナル部分ニ迄及フモノナルヤ

国際公法

第一、国際法ノ主体タル国家ハ如何ナル性質ヲ有スルコトヲ要スルヤ

第二、国家ノ承認ト交戦主体ノ承認トノ差異ヲ述ヘヨ

第三、開戦ノ交戦国ヲ当事者トスル条約ニ対スル影響ヲ略述スヘシ

第四、中立国ノ義務ハ之ヲ三種ニ大別シ得今其各種ニツキ特質ノ大要ヲ述フベシ

国際私法

第一、国際私法ノ性質ヲ論ス

第二、法律抵触ノ決定ニ関シテ属人法説（即チ本国法主義）ノ

価値如何

破産法

第一、破産宣告カ破産者ノ財産權上ニ及ホス影響如何

第二、協諧契約ノ性質及ヒ其効果ヲ説明スヘシ

第三、破産手續停止ノ効力如何

(附記第三年級ノ擬律問題ハ擬律欄内ニ問題ヲ掲ク)